

# 新飯能

発行 日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江 972-6401  
山田とし子 973-4710  
新井たくみ 978-0175  
滝沢おさむ 972-3875

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所416)  
Mail [jcp-sigi@pluto.plala.or.jp](mailto:jcp-sigi@pluto.plala.or.jp)

## 市立病院

# 入院を段階的になくす？

## 保健・福祉懇談会が最終報告(案)

飯能市の保健・福祉の将来を考える懇談会(御船会長)が、九月七日開かれました。

①市民との「協働」の現状と今後のあり方②予防をとりまく現状③市立病院の現状と今後のあり

方などが議論されました。

なかでも最終報告素案では、市立病院の今後のあり方が集中的に議論されましたが、「今後、多額の公費を投入し続けながら、市立病院として入院機能を残す必要性は薄い」「医療職の退職者補充のための採用は停止する」などとして、「退職者数や他部署への配置転換者の数に応じながら、最もコスト改善が図られる病床規模へ段階的に縮小し、将来的に入院機能を廃止する」としています。

ある委員は、「これまでの経営改善の努力は十分と言えるのか。もうしばらく検討が必要ではないか」「この懇談会として、そこまで結論を出すことが必要なのか」などの意見が出されましたが、「入院廃止」の方向が最終報告案として確認されました。

この最終報告を受け、今後、設置される市立病院の在り方を検討する「有識者会議」でさらに具体的な問題が検討されることとなります。

## 懇談会として ふさわしい議題か

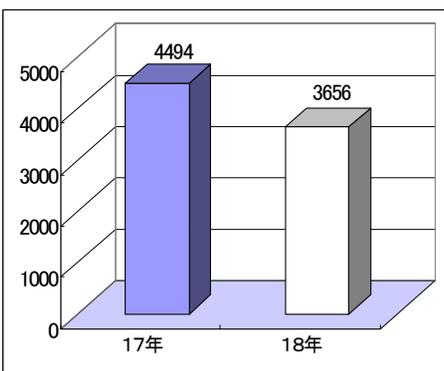
そもそもこの懇談会の設置目的は、「少子高齢化社会に対応し、将来に



わたり市民生活を支えることができる持続可能な保健・福祉施策の在り方について検討する」というもので、病院の合理化を議題にすることがふさわしいか大いに疑問です。それよりも、報告案にある平成十七年市民検診者(八一七一人)のうち、「異常なし」なのはわずか七%であり、九三%が「要指導」または「要医療」という現状に飯能市がどう対応していくかが

## 健康診断有料化で 検診者数が2割減少

飯能市は、四〇歳以上の市民で、職場などで健康診断をしていない市民を対象に市民検診を実施



しています。ところが、今まで無料だった検診が一三〇〇円の有料化になりました。

今年の検診の実施状況を九月までで見ると三六五六人で、昨年同期より、八三八人(十九%)少なくなっています。昨年の結果から九三%が「要指導」または「要医療」という状況からみて、重症化することが予想され



## 平松の ひまわり迷路

検診費用をケチツても病気がすすんで治療することになれば、市民にとっても大きなマイナスになります。一〇〇十一月の検診も残されてはいるものの、検証が必要ではないでしょうか。

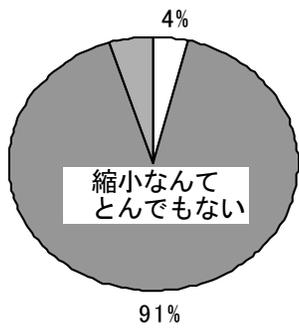
もう何日も雨が降り続けているような気がする。赤とピンクの小さなカサが二つ、楽しそうに通りすぎてゆきました。子どもはいいなあと思えます。大人には秋雨は冷たく身に沁みます。そういえば鳴き急ぐようにがんばっていた秋蟬の声もめっきり少なくなり、夜ともなれば虫時雨があたりをすつぽりつつんでいます▼子どもはいいなあと思いたら、そんな記事が地元新聞に載っていました。小学校での先生の子どもへの体罰です。担任の教師が指示に従わなかった7人の児童に体罰を加え、そのうち一人に鼓膜が破れるなど全治一ヶ月の怪我を負わせたというのです。こんな事件が近くの学校であったというのは大きな驚きです▼もう一つは小学校の校内暴力が初めて二千件を突破したことが文科省の調査で明らかになったことです。教師への暴力は前年比4割増といわれています。どうしたらいいのでしょうか。悪いのは教育基本法だというようなねじ曲げを許さないために真剣な論議が求められているのではないのでしょうか。

## 波 紋

# 市立病院の入院廃止問題で

## 緊急アンケートを実施

日本共産党両吾野支部は、市立病院の入院施設を廃止する方向で検討がすすめられているなかで、



住民アンケートを実施しました。吾野、東吾野地域を対象に、八月二五日のサンケイ、読売、朝日、毎日新聞に一七〇〇枚の返信封筒付きアンケートを折り込み、これまでに二五〇人以上が回答を寄せてくれました。

### 過疎化を助長する

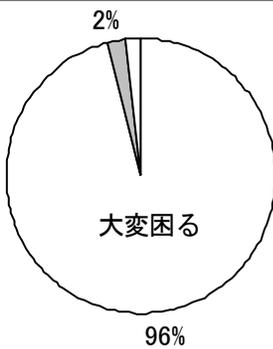
記述していただいた意

答えた人は四％弱、「とんでもない」と答えた人が九一％です。「高齢化が進んでいる山間地では入院施設がなくなったら大変困る」という人が九六％でした。

見では、肺炎で入院したという七〇代の女性は、十五年ほど前に転居してきた方ですが、「他の医大病院にも入院したことがあるがひげをとらないいい病院でした。この地域にこういういい病院があつてうれい」と書いています。また三〇代の女性は、「父が今月入院しました。先生や看護婦さんに親切にして頂きまして。見舞いにも近いので毎日行けました。市立病院に入院できなくなったら本当に困ります」また七〇代の女性は、「山



の中に住む私たちは、この病院が頼りです。車も運転できず、他の病院には行けません。やたらと寂しい地域になってしまっています」と切実に訴えています。市長は、こうした声に真剣に耳を傾けるべきではないでしょうか。



交通安全フェスティバル・コアラまつり二〇〇六が、飯能自動車学校の主催で九月十八日、開催されます。この催しは、飯能市も後援団体となっており、交通安全運動の一環とはいえ、実質は飯能自動車学校のPRの催しでもあり、市長の経営する企業の宣伝に飯能市が後援をする点にも大きな疑問が残ります。また、この案内チラシが市役所各職場で職員に回覧されました。職員からも「行き過ぎではないか」との批判の声があがっています。

## 飯能自動車学校のコアラまつり 市役所内で職場回覧?!

日本共産党飯能市議団は、「沢辺市長が代表取り締まりの一企業の行事を飯能市が後援し、その案内のチラシを職場回覧するというのはいかがなものか」と申し入れたところ、秘書室長は「誤解を受けないよう回収も検討したが、回覧がほぼ終わっていることと、交通安全対策の一環なので問題はないのではないか」と結論になった」と回答しましたが、問題は残りそうです。

# 手作りこんにゃくで 美味しい唐揚げいかが 阿須まつり盛大に



十日、阿須まつりが障害者施設の阿須フレンドワークで盛大に行われました。午前十時の開会前から長蛇の列で、始まる

と同時にお目当てのコーナーにどっと流れ込みました。室内にはバザーや手作りコーナー、喫茶コーナー。外のテントでは、フレンドワークの仲間達が作った手作りこんにゃくが、煮物やさしみ、から揚げになつて販売されています。

保護者や、後援会の皆さんと一緒に、山菜おこわ、野菜、カキ氷、飲み物、的あてなども担当し張り切っていました。子どもの楽しめ

る的あてコーナーでは、初めて来たという日高市の親子は「こんなにあつちやつた！」と大きな袋にぬいぐるみがいっぱい。満足げにテントの下で休んでいました。この日はとても暑く、汗を拭きながら皆さん満足した様子でした。施設長さんは、「国の制度が変わって四月から運営が大変になった。でも協力してくれる後援会の方や今日来てくれた皆さんのおかげで子ども達に、良いサービスが出来る」と語っていました。

11月3、4、5日開催です。前売券は近くの 党員、市議会議員まで

**第39回 赤旗まつり** 日本共産党

11月3日 不破哲三  
11月4日 志位和夫  
11月5日 市田忠義

日本共産党が丸ごとわかる

11月3日(祝) 4日(土) 5日(日) 前売参加券 (税別)

東京・江東区「夢の島公園」 赤旗まつり実行委員会 ☎03-3403-6111

一般券 2,300円 (税別) 中学生以下 1,500円 (税別)

割引券 1,500円 (税別)